



赤荻 武 [アカオギ・タケン]

1978年生まれ。雑誌・書籍を中心に撮影、執筆を手がける。著書に「カメラレシピ 毎日を特別にするためのフォトレッスン」「カメラレシピ 2 晴れの日、ぶらり。ロケ地案内」(ともにマーブルトン)「クリエイターのための3行レシピ 写真撮影のアイデア」(翔泳社)がある。

HOLGA120をもっと楽しむための

撮影アクセサリガイド

トイカメラの王様「HOLGA120」には、撮影をもっと楽しくするアクセサリが充実している。これらのアクセサリをどんどん使って、HOLGAならではの表現世界を楽しんでみよう。

[写真・解説] 赤荻 武

[機材写真] 竹澤 宏

[機材協力] エー・パワー (<http://www.doctor-and.com/>)



フィッシュアイレンズ

「FISHEYE for HOLGA」は、エー・パワー独自開発のレンズ。チューブでボラバックにも対応可能。カラーは黒とシルバー (7,245円)。



カラーフィルター付きフラッシュ

スライド式のカラーフィルターとHOLGAの内蔵フラッシュに連動するスレーブ機能を搭載した縦型のフラッシュ HOLGA-160S (3,150円)。



クローズアップ用リングフラッシュ

発光距離50cmのクローズアップ用リングフラッシュ CFL-500 (8,400円)。影のない撮影が可能。発光はスレーブもしくは付属のシンクケーブルで行う。カラーフィルターも付属する。



魚眼・ワイコン・テレコン

左からフィッシュアイレンズ FEL-120 (3,990円)、ワイコン HW-05 (3,360円)、テレコン HT-25 (3,360円)。HOLGAのオリジナル製品。



ビューファインダー

ホットシューのないHOLGAにビューファインダー FV-1を装着するブラケットのセット FV-1/MB-120 (左・1,470円)。FV-1 (右・1,050円)。



クローズアップレンズセット

撮影距離50cm (CL-500)、25cm (CL-250)、12cm (CL-120) の3枚組のクローズアップレンズセット CLS-1 (3,150円)。



拡大率の大きいマクロレンズ

撮影距離6cmと3cmの2枚組のマクロレンズセット MLS-1 (3,150円)。撮影距離を固定できるライト&アダプター MCL-60の使用がオススメ。



接写用ライト&アダプター

MLS-1を使用して接写する際に便利なリングライト付きアダプター MCL-60 (3,990円)。撮影距離6cmと3cmの両方に対応。



HOLGA120GCFN-SB (8,400円)。ブラック色の通常バージョンとは異なり、シルバー/ブラックカラーのボディを採用したモデル。ガラスレンズ、回転式カラーフィルター(赤、青、オレンジ、透明)付きフラッシュを内蔵している。この他、HOLGA120GFN-W (ホワイトバージョン、7,350円)もあり、ボディカラーを楽しめる。



インスタントフィルムホルダー

インスタントフィルムで撮影できるHolgaroidホルダー (13,650円)。使用フィルムは、カラーは感度100のFP-100C。モノクロは感度100のFP-100B、感度400のFP-400B、感度3200のFP-3000Bが使用可能。



貼り革

カメラの外観を簡単に変更できる貼り革で、左から「栗梅」「へび」「白磁」の3種を用意。HOLGA120 Exterior (各1,560円)。



牛革製カメラケース

裏蓋落下防止にも役立つ牛革製カメラケース EVER READY CASE for HOLGA120 (カラー黒、6,900円)。

被写体にぐーんと近づいて 歪曲効果を強調しよう

フィッシュアイレンズ FISHEYE for HOLGA



HOLGA 製造 FEL-120 よりも遠近感が強く出るうえ、描写が精細。金属鏡胴とガラスレンズ製のため、作りがしっかりしていて安心。ビューファインダー FV-1/MB-120 があれば便利だが、使用しなくても写りそのものが楽しめる。1m からのパンフォーカスだが、さらに被写体に近づいてもピントに問題はない。

内蔵フラッシュに連動して カラーフラッシュ撮影が楽しめる

カラーフィルター付きフラッシュ HOLGA-160S



内蔵フラッシュをさらに強化したいときに装着して使うフラッシュで、カラーフィルターはスライド式で収納が楽。この写真では HOLGA 本体のフラッシュは透明、HOLGA-160S には赤フィルターを使用した。内蔵フラッシュもカラーにすると、さらにフラッシュ表現の楽しみが増えそうだ。

色の異なるカラーフィルターや フィッシュアイレンズを使おう

リングフラッシュ CFL-500



フィッシュアイレンズ FEL-120、アダプター MB-500 を介して CFL-500 を装着。内蔵フラッシュのカラーフィルターを青、CFL-500 を赤フィルターにしてスレープ撮影。内蔵フラッシュのカラーフィルターと異なるフィルターを装着しても面白いし、リングの左右、上下でカラーを別にしても楽しめる。

手軽&リーズナブルな価格で フィッシュアイ撮影が楽しめる

フィッシュアイレンズ FEL-120



「FISHEYE for HOLGA」よりも描写はあまいが、リーズナブルなのが魅力。丸く切り取られる分、フィッシュアイの効果を感じられる。ビューファインダー FV-1/MB-120 を使用すると、より確実にイメージが確認できる。アダプター MB-500 を装着して、リングフラッシュ CFL-500 でフィッシュアイ撮影することも可能だ。

撮影距離とパララックスに注意しながらクローズアップを撮影してみよう

クローズアップレンズセット CLS-1

CL-250 (撮影距離約25cm)



CL-500 (撮影距離約50cm)



ノーマル (撮影距離約100cm)



CL-120 (撮影距離12cm)



同じ被写体をクローズアップレンズを交換して、適切な撮影距離から撮影。ノーマルはクローズアップレンズなしなので最短撮影距離の約1m。それぞれのレンズで撮影距離が決まっています。近距離のクローズアップレンズほど大きなボケを楽しむことができます。近距離の撮影ではパララックスがあるため、構図を決めるときにファインダーを信用すると失敗してしまう。レンズの正面、適切な距離に被写体を置くことを心がけよう。撮影距離が近いほどピント合わせがシビアになるので、CLS-120 (撮影距離約12cm) が一番難易度が高い。レンズ前の撮影距離約12cmに被写体を捉えたら、小刻みに前後しながら数カット撮影する方法がベター。



CL-250 装着時

平面的な被写体だけではなく立体的なものも面白く撮れる

マクロレンズセット MLS-1 + ライト&アダプター MCL-60

ML-60 (撮影距離6cm)



ML-30 (撮影距離3cm)



マクロレンズセットMLS-1は、MCL-60と組み合わせることで、ライティングと撮影距離の問題をクリアできる。ライトの光量は、ISO400フィルムを使えばノーマルシャッターで充分撮影可能。平面的なものだけではなく、あえて立体的なものを撮影しても、ボケ部分ができるため面白い。ただし、それぞれのマクロレンズの撮影距離には注意したい。





高感度のモノクロフィルムを使用すれば ノーマルシャッターでも楽しめる

Holgaroidホルダー

HOLGAのシャッター速度が定速の1/100秒のため、インスタントフィルムの感度が高いほうが照度の低い室内などでは有利だ。そこで感度400のモノクロフィルムFP-400Bを使用して撮影した。逆に屋外では白飛びしてしまうため、曇りの日か、日陰を選んで撮影したい。カラー写真に慣れてしまっているため、モノクロフィルムのノスタルジックさも面白い。



交換レンズのように気軽に装着して撮影すると 同じ被写体でも画面に変化がつけられる

テレコンHT-25 & ワイコンHW-05

HT-25 (2.5倍)



HW-05 (0.5倍)



ノーマル



撮影距離を固定して、同じ被写体をそれぞれテレコン、ワイコンを装着したものと、ノーマルで撮影したものを比較した。どちらのレンズもファインダーは対応していないため、テレコンは「ファインダーの中心部のみが写る」意識で、ワイコンは「ファインダーの外側まで写る」意識で撮るのがコツ。両レンズともHOLGAのレンズよりも周辺光量落ちが大きいですが、この2本を交換レンズのように使い分けると、撮影シーンが増えて楽しめるだろう。



HT-25装着時



HW-05装着時